



その長引く咳、微熱

肺結核かも、、、

感染症発生動向速報

(令和元年第 37 週分・9 月 9 日～9 月 15 日)

令和元年 9 月 18 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

《 インフォメーション 》

結核予防週間 (9/24～30)

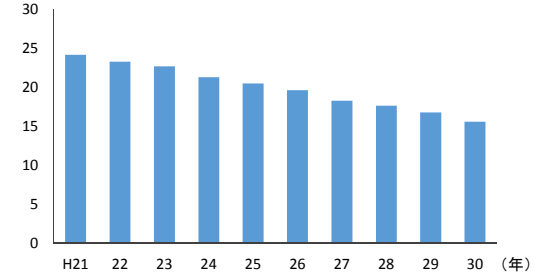
厚生労働省は、毎年 9/24～30 の 1 週間を「結核予防週間」と定めて、国民に対し結核に関する正しい知識の普及啓発に努めています。

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、毎年 1 万 5 千人以上の新しい患者が全国で報告され (図参照)、約 2 千人が亡くなっています。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。肺に侵入して病巣を作ることが多く、患者の咳などに含まれる菌が飛び散り、空気中を浮遊し、周囲の人がそれを吸い込むことで感染します (空気感染)。感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の 8～9 割は発病することなく一生を過ごします。しかし、加齢などで免疫力が低下すると、菌の増殖を抑えられなくなり発病します。結核は、発病しても **早期発見、治療により治る病気です**。しかし、肺結核は、咳、痰、微熱や倦怠感などの軽い症状が長引き、気づかないうちに進行してしまふことがあります。このような症状が 2 週間以上続き、いつもの風邪症状と異なるようであれば、その旨を医師に相談してください。早期診断につなげることが大事です。

また、乳幼児の場合、大人と比べ抵抗力が弱く、感染すると重症化しやすいため、定期接種対象年齢 (通常 1 歳に至るまで) の乳幼児には **結核ワクチン (BCG)** を受けさせましょう。

結核患者報告数の推移(全国)



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 12 件 (①第 34 週診断分：40 歳代、女性 ②第 36 週診断分：70 歳代、女性 ③④共に 20 歳代、男性 ⑤⑥共に 30 歳代、女性 ⑦70 歳代、男性 ⑧70 歳代、女性 ⑨80 歳代、男性 ⑩⑪共に 80 歳代、女性 ⑫90 歳代、女性)

三類感染症 細菌性赤痢 1 件 (40 歳代、男性、*S. sonnei*, D 群)
腸管出血性大腸菌感染症 2 件 (①20 歳代、女性、O26、VT1 ②20 歳代、女性、O157、VT1VT2)

四類感染症 レジオネラ症 2 件 (①②共に 50 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (80 歳代、男性)
百日咳 5 件 (①10 歳未満、男性 ②10 歳未満、女性 ③10 歳代、男性 ④10 歳代、女性 ⑤30 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1 位	RS ウイルス感染症	3.52 (↓)	4.10
2 位	感染性胃腸炎	3.38 (↓)	5.07
3 位	手足口病	2.21 (↑)	1.52
4 位	ヘルパンギーナ	1.21 (↓)	1.31
5 位	伝染性紅斑	1.14 (↓)	1.41
6 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93 (↓)	1.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第37週 令和元年9月9日～令和元年9月15日）

分類	疾患	今週報告分（第37週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1	6	1	2	10	20	11	45	25	37	138
三類感染症	細菌性赤痢		1				1		1				1
	腸管出血性大腸菌感染症				1	1	2		1	6	5	8	20
四類感染症	E型肝炎							3		1			4
	A型肝炎							1					1
	つつが虫病							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症	1				1	2	3		13	8	15	39
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	1		8	8	9	26
	水痘（入院例）							1	2			5	8
	梅毒							1		2	1	14	18
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳			2	2	1	5	1	5	71	58	96	231
	風しん								1			3	4
	麻しん									1	2		3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		1		1	7	9	1,428	925	3,157	1,692	3,704
			0.20		0.14	0.44	0.19						
RSウイルス感染症		6	6	51	14	25	102	25	63	208	80	313	689
		1.50	2.00	6.38	3.50	2.50	3.52						
咽頭結膜熱		6		3		3	12	167	22	235	50	192	666
		1.50		0.38		0.30	0.41						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	9		16	27	110	117	593	242	1,006	2,068
		0.25	0.33	1.13		1.60	0.93						
感染性胃腸炎		13	20	24	1	40	98	1,011	816	1,292	472	3,036	6,627
		3.25	6.67	3.00	0.25	4.00	3.38						
水痘						1	1	19	19	45	11	237	331
						0.10	0.03						
手足口病		11	3	5	1	44	64	194	223	1,026	265	1,215	2,923
		2.75	1.00	0.63	0.25	4.40	2.21						
伝染性紅斑		1	1	11	3	17	33	123	62	437	120	548	1,290
		0.25	0.33	1.38	0.75	1.70	1.14						
突発性発しん		2	2	4	1	7	16	28	33	166	38	148	413
		0.50	0.67	0.50	0.25	0.70	0.55						
ヘルパンギーナ		5	4	6	4	16	35	132	104	247	67	245	795
		1.25	1.33	0.75	1.00	1.60	1.21						
流行性耳下腺炎								4	7	8	1	20	40
急性出血性結膜炎											13		13
流行性角結膜炎								1	10	29	28	7	75
細菌性髄膜炎											4	4	
無菌性髄膜炎		1				1	2	1			1	4	
		1.00				0.20							
マイコプラズマ肺炎								6	3			9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1						1	1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年8月分）

		8月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			3		14	17	2	3	13		62	80
				1.00		3.50	1.70						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		2			5	7		7	8	5	28	48
			2.00			1.25	0.70						
	尖圭コンジローマ				3		3			5	8	11	24
					3.00		0.30						
	淋菌感染症					1	1	5		2		13	20
						0.25	0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	2	5	3	3	15	8	13	25	18	37	101
		2.00	2.00	5.00	3.00	3.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							2		10	6	4	22

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。